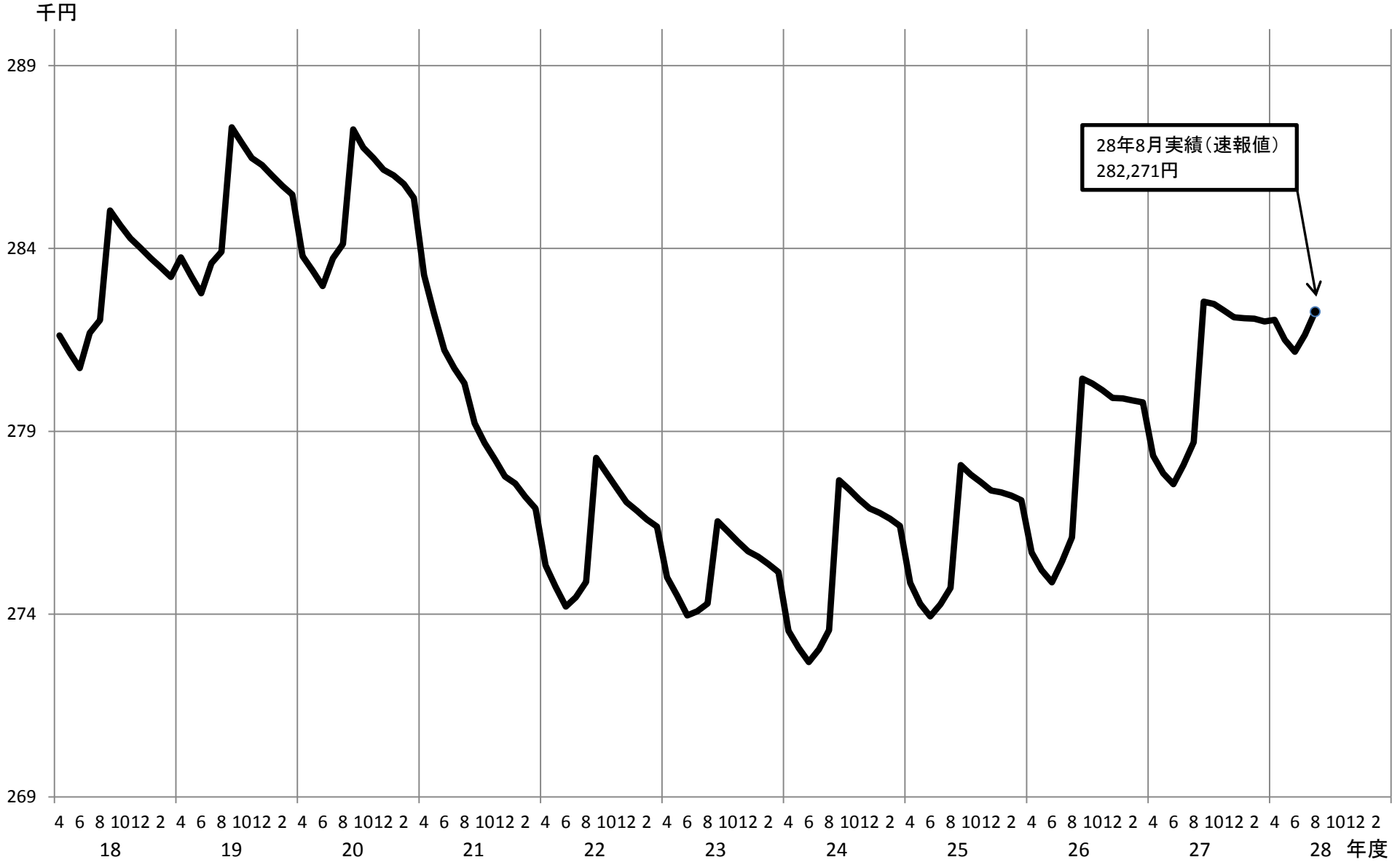
保険財政に関する重要指標の動向

被保険者1人当たり標準報酬月額の実績値



関 連 す る 主 な 経 済 指 標

●毎月勤労統計調査（厚労省）　9 月 23 日発表

7 月分（確報）

〇きまって支給する給与（基本給、時間外給与等）

常用雇用労働者数 5～29 人の事業所、一般労働者（平成 22 年の平均＝100）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平成 21	100.3	100.6	100.8	101.1	99.2	100.1	99.7	99.4	99.4	99.9	100.1	100.1
22	99.2	99.8	100.2	100.7	99.3	99.9	100.4	99.7	99.9	100.2	100.3	100.6
23	98.5	99.5	100.5	100.6	98.8	99.6	99.7	99.5	99.4	99.7	100.0	100.5
24	98.6	99.4	100.1	100.6	98.8	99.9	100.1	99.8	100.1	100.5	100.3	100.6
25	99.3	100.2	100.9	101.6	99.8	100.5	100.3	99.8	100.4	100.9	101.2	101.2
26	99.4	100.3	100.9	101.6	99.9	100.7	100.3	100.0	100.7	100.9	101.4	101.2
27	100.4	101.0	101.6	102.3	100.7	101.2	101.1	100.9	101.2	101.7	102.0	102.2
28	100.7	101.6	102.3	103.2	101.2	102.4	102.6					

常用雇用労働者数 500 人以上の事業所、一般労働者（平成 22 年の平均＝100）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平成 25	100.2	101.5	102.0	102.8	101.2	101.3	101.1	101.3	101.1	101.9	101.8	101.6
26	101.3	101.9	102.5	103.2	101.9	102.4	102.4	101.7	102.1	102.8	102.5	102.6
27	100.3	100.4	101.6	102.1	100.2	101.1	101.5	100.3	100.4	101.0	100.8	100.9
28	100.7	101.1	102.3	102.7	100.4	101.5	101.3					

※平成 27 年 1 月分の調査より、常用雇用労働者数 500 人以上の事業所の調査対象事業所の抽出替え（サンプル事業所の入れ替え）を行っているため、26 年以前（旧サンプル）と 27 年以降（新サンプル）の指数に連続性はない。

●日銀短観（9月分業況判断ＤＩ）　10月3日発表

＜中小企業＞（「良い」－「悪い」・%）

	2015/6月	→ 2015/9月	→ 2015/12月	→ 2016/3月	→ 2016/6月	→ 2016/9月	先行き (2016/12月まで予測)
製造業	0	0	0	-4	-5	-3	-5
非製造業	4	3	5	4	0	1	-2

＜大企業＞

製造業	15	12	12	6	6	6	6
非製造業	23	25	25	22	19	18	16

※企業経営者に、経営状態が「良い」「さほど良くない」「悪い」の選択肢から一つ選んでもらい、「良い」と答えた企業の割合から、「悪い」と答えた企業の割合を引く。この数字の変化で、経営者の景気判断の変化を把握する。

●中小企業月次景況観測（商工中金）　9月28日発表

9月の景況判断指数は47.7（前月比1.4ポイント上昇）。
2ヵ月ぶりの上昇。10月も上昇を見込む。

※景況判断指数が50を上回れば、調査対象企業の景況判断が前月より「好転」を表し、50を下回れば「悪化」を表す。

●月例経済報告（内閣府）　9 月 16 日発表

総論

景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。

雇用情勢

賃金をみると、定期給与は横ばい圏内で推移している。現金給与総額は緩やかに増加している。
先行きについては、改善していくことが期待される。

●景気動向指数（内閣府）　10 月 7 日発表

8 月分（速報）

一致指数：前月比 0.1 ポイント下降し、3 ヵ月ぶりの下降。
先行指数：　　1.2 ポイント上昇し、2 ヵ月ぶりの上昇。
遅行指数：　　0.3 ポイント上昇し、2 ヵ月ぶりの上昇。

※景気の現状把握及び将来予測に資するため、景気に敏感に反応する各種の経済指標を統合して作成。